

令和7年度 6学年授業改善プラン

大田区立矢口小学校

1. 昨年度の授業改善プランの検証

- 【国語】言葉の特徴や使い方に関する事項、言語文化に関する事項、読むことの校内正答率が低い実態がある。また、書くこと（文章構成の役割について理解し、文で表すこと）に課題がある。作文指導や文章構成の指導等を通して書く力を高める必要がある。
- 【社会】資料から必要な情報を正確に読み取る読解力に課題がある。
- 【算数】学習内容に応じてI C T機器や具体物の活用等を取り入れたが、一部の児童に理解の不十分な部分が見られる。分数、小数の基礎的な計算力が定着していない児童も目立つ。
- 【理科】根拠のある予想を立てたり、問題の解決方法を考え、叙述したりすることができるようになってきたが、実験結果やグラフの読み取りが苦手な児童が多い。

2. 大田区学習効果測定の結果

（「主体的に学習に取り組む態度」については児童の様子で評価）

教科	国語			社会			算数			理科			外国語(英語)		
全体	▽			▽			▽			▽			◎		
観点別	▽	▽	◆	▽	◆	◆	▽	▽	◆	▽	◆	◆	◎	◆	◆
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

◎ 正答率平均が目標値を上回った教科・観点

◆ 正答率平均が目標値と同程度の教科・観点

▽ 正答率平均が目標値を下回った教科・観点

3. 各教科の授業改善プラン

（1）国語・社会・算数・理科

- 【国語】文章を書く力を身に付けさせるために、テーマに合った内容の作文や理由を明確にした提案文や意見文を書く機会を設定する。また、自分の意見や考えを表出できるよう、提案文や意見文を書く活動をより充実させることに加え、学習の振り返り活動で決まった文字数で書く習慣を定着させていく。読むことに関しては、授業改善や課題プリントで既習事項の確認、及び、指導を行う。
- 【社会】主体的な学びの実現のために、社会の出来事を「自分ごと」として捉える問いを設定し、思考を促す。資料を読む力を高めるために教科書や地図、グラフ、年表などを比較しながら読み取る学習を意図的に取り入れる。社会ニュースや新聞記事にふれる習慣をつくる。映像画像やスライド、デジタルを使い、視覚的に理解を深める。
- 【算数】隙間の時間に、分数や小数の四則演算を中心とした、基礎・基本的な計算問題を教科書やタブレット学習等で繰り返し行い、既習事項の定着を図る。

【理科】 科学的思考を働かせて問題解決を行えるよう、生活と関連付けた予想、比較、関連付け、条件を制御するなどし、多面的に考えられるよう授業改善を図る。児童が、内容領域ごとの視点を理解し、知識・技能を習得できるよう、実験を通じた体験学習の充実を図ることや、単元終了後も繰り返しプリント等で復習を行う。

【英語】 既習の単語や表現を使って伝えたいことを書くこと、また、発表の練習時に表現したい文を読む練習を加えることで、英文を書いたり読んだりする力を定着させていく。一人一人が楽しみながら、自分の伝えたいことを表現できるよう、会話表現と英文の読み、書きのバランスを考えて授業計画を立てる。

(2) 音楽・図画工作・家庭科・体育

【音楽】

観点別課題(◆)と改善プラン(○)		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◆一人一人の実技における技能の差が見受けられる。 ○協働学習の場面を多く取り入れ、合唱・合奏において個々の能力を伸長させていく。	◆既習事項を生かした発展的な発想を広げていきたい。 ○様々なICTコンテンツ利用し、表現の幅を広げる学習をすすめる。	◆個人の学習成果を協働的学習に活用する必要がある。 ○音楽活動に取り組む楽しさを共有する活動や演奏の成功体験機会を増やす。

【図画工作】

観点別課題(◆)と改善プラン(○)		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◆技能面で個人の差が大きく見受けられる。 ○実技の指導時にICT機器を活用し視覚的に分かりやすい指導を行う。また、児童同士の協働学習の機会を設け、知識の共有を図る。	◆発想力や表現力に差が見受けられる。 ○既習の表現方法を確認し、よく考えて作品作りに取り組めるよう、題材の選定や、ワークシートを活用する。	◆領域により、苦手意識を感じている児童が見受けられる。 ○導入時に苦手意識に起因しそうなポイントをおさえ、個に応じた指導を進めていく。

【家庭科】

観点別課題(◆)と改善プラン(○)		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◆袋物の作成にあたって、学習の見通しをもつことが難しい。 ○振り返りシートなどを活用し、見通しをもたせる。	◆袋物の作成にあたって、問題を見出し、課題を設定させることが難しい。 ○グループワークを活用し、様々な解決方法を見い出させる。	◆家族の一員として、生活をより豊かにするための袋物の製作に対して意欲を高めさせていく必要がある。 ○実体験を十分に振り返らせる機会を設定する。

【体育】

観点別課題(◆)と改善プラン(○)		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◆一人一人の技能の差が大きくなってきた。 ○自分の動きを客観的に捉えられるよう、ICT機器を活用	◆自分でめあてを設定することができない児童が見られる。 ○個々の実態にあっためあてが立てられるよう、運動のポイ	◆運動領域により、苦手意識を感じている児童が見受けられる。 ○様々な運動に親しんだり、自

用する機会をもつ。	ントを全体で確認して自分のレベルにあっためあてを設定できるようにする。	ら練習の場を設定する機会を増やしたりしながら、体力の向上が図れるようにする。
-----------	-------------------------------------	--